

市大授業 ～文学部～

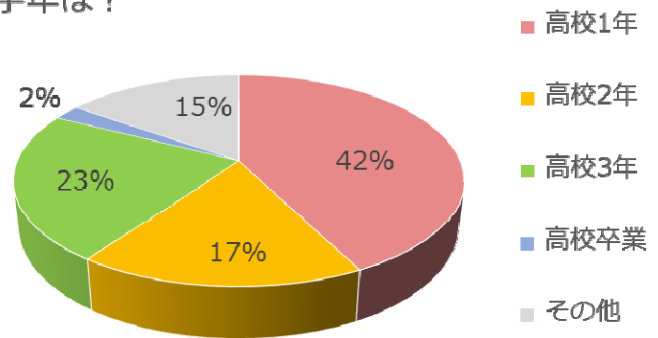
2014年4月@杉本キャンパス

文学部を知りたい人のための市大授業 —ひらけゆく世界 みえてくる人間—

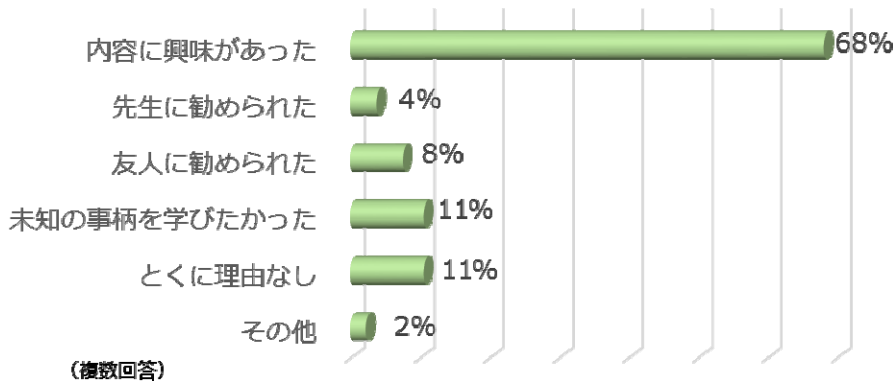
関西近県の高校生・予備校生を対象に、3つの授業と現役学生とのフリートークを通じて、大学の構内や建物の雰囲気を感じていただきました。

毎年春と秋の恒例のイベントです。理学部も同日開催しました。

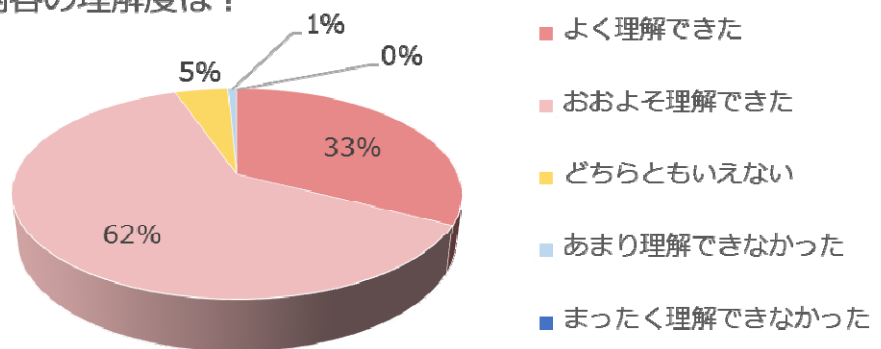
学年は？



受講した授業を選んだ理由は？



授業内容の理解度は？



アンケートは各授業毎に受講者に依頼
合計回答者数132名

環境から見た世界史

－コロンブスの交換／不等価交換－

西洋史学 大黒俊二教授

新旧両大陸間での動植物、病原菌の移動が環境にもたらした影響を例に、人間と協働して歴史を作り上げていく存在であると意識される「環境史」の一端を紹介しました。

声!

天然痘がスペイン人はかからずにインディオにのみ影響したこと、ジャガイモに多くの歴史があるのを初めて知り、おもしろかった。

日本の境界を考える

－国内野外調査から見える異国－

地理学 山崎孝史教授

大学の地理学は現場で観察し、情報を得ます。「韓流のメッカ」新宿区大久保と米軍嘉手納基地前の沖縄市コザ。これらから日本の境界がどのように見えるのかを論じました。

声!

沖縄の米軍基地に対する本州のメディアと地元の人々との意見のとらえ方の違いに興味を持った。

カンフー映画の世界へ

中国文化学 張新民教授

カンフー映画は 1920年代には上海で制作され、武術にすぐれた任侠を重んじる英雄豪傑を描く映画です。中国の武侠映画の世界観や武芸観を概説しました。

声!

映画のなかにも儒教や道教の思想があらわれているというのがおもしろかった。

文学部学生とのフリートーク!

文学部での学生生活を思いっきり楽しんでいる学生達がたくさん駆けつけてくれ、受験勉強や大学での勉強、クラブ活動、就職などについて相談に乗ったり、大学の最新情報を伝えたりしました。

当日飛び入りで参加された高校生や父兄のみなさんも多く、大阪市大文学部に期待されていることをうかがう貴重な機会ともなりました。

